天童市民病院における勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画（令和4年度）

令和4年3月現在の勤務医の勤務状況
1　医師数　　常勤　　8名
2　常勤医師週平均勤務時間　　常勤週39時間
3　当直回数　3月平均　2.1回（最大3回、最小1回）（日・祝　0.5回、平日1.6回）
4　日直回数　日祝0回　土曜半日4回

目標

・医局の役割分担通知に基づき、医師が担っていた業務等を看護師、コメディカル、事務等、他職種への役割分担を推し進める。
・勤務負担の軽減をより推進する。
・医師事務作業補助者の経験年数を積み上げる

分　野	現　状	令和4年度の目標	目標達成のために必要な手順	達成項目のチェック				備考
				令和4年7月		令和5年3月		
他職種との役割分担（看護師）	**看護師が初診時の予診を実施**	・実施済	・継続実施	☑	100%	☐		
他職種との役割分担（看護師）	**看護師が静脈採血を実施**	・実施済	・継続実施	☑	100%	☐		
他職種との役割分担（看護師・事務）	**看護師・事務が入院の説明を実施**	・実施済	・継続実施	☑	100%	☐		
他職種との役割分担（看護師・検査技師）	**看護師・検査技師が検査手順の説明を実施**	・実施済	・継続実施	☑	100%	☐		
他職種との役割分担（薬剤師）	**服薬指導を薬剤師が一部実施**	・薬剤師の服薬指導件数をアップする。	・薬剤師の業務の効率化	☑	50%	☐		
他職種との役割分担（管理栄養士・リハ）	リハビリ実施患者の栄養状態の早期期把握が不十分	・リハビリ職員、看護師と管理栄養士の連携による栄養管理の充実	・リハビリ職員、看護師と管理栄養士が連携し、電子カルテで情報共有する	☑	100%	☐		
他職種との役割分担（事務職員）	・医師事務作業補助者4名（常勤換算3.6人）配置済内、3年以上2人（常勤換算1.8人）配置済	・医師事務作業補助者の経験年数を増加させる。	・医師事務作業補助者の経験年数を増加させる。	☑	100%	☐		
多職種との役割分担（看護師・リハビリテーション・事務職員）	他医療機関との入退院調整に手が取られる	・地域医療連携室による事前調整の徹底	・入退院調整会議の内容充実 ・他医療機関との顔の見える関係の強化	☑	100%	☐		
	電子カルテの使用勝手が悪い部分がある。	・問題点がないか確認し、あればシステム対応をする	・業務の洗い出しを行い、システム対応に変更する	☑	100%	☐		印刷物削減のシステム改修を実施
	入院できるかどうかわかりにくい	・空床の事前把握による入院ベッドの確保	・入退院調整会議の内容充実 ・電子カルテに掲示	☑	100%	☐		
医師の負担軽減及び処遇改善	**①連続当直を行わない勤務体制の実施**	・実施済	・継続実施	☑	100%	☐		
	④当直翌日の業務内容に対する配慮	・実施済 （当直翌日は午前勤務までで、午後休み）	・継続実施	☑	100%	☐		
	日当直への外部医師の積極的活用	・70%程度の利用	・業者の活用により割合を維持	☑	80%	☐		宿日直許可の申請手続きを進めている
	休日祝日の外部医師の積極的活用	・基本、外部医師を利用する（日曜日を除く）	・基本、外部医師を利用する（日曜日を除く）	☑	80%	☐		
	退職予定医師1名の補充	・できるだけ早期に1名を補充する	・業者への営業の強化	☑	100%	☐		1名採用決定（9月着任予定）
	業務量や内容を把握した上で、特定の個人に業務負担が集中しないよう配慮	・発熱外来やワクチン接種の業務が継続される中での配慮	・医師との調整(医局会)	☑	100%	☐		7月発熱外来が多忙になってきている